

【第159号】
2014年9月7日(日)発行
毎日新聞ふれあい毎日編集部
〒745-0622 周南市樋口1762-1
TEL 0833-91-3710
編集部携帯090-6431-8123
FAX 0833-91-3710
E-mail fureai10@kvision.ne.jp

【発行地域】
周南市 下松市 柳井市
光市 岩国市 平生町
田布施町 上関町 周防
大島町

ふれあい毎日

情報まとめてみなさんのもとへ

MAINICHI
新毎日

ふれあい毎日は毎月第一日曜、県東部の毎日新聞読者の皆様にお届けするふれあい新聞です。

田布施町

和太鼓集団 山城組「空」始動



「たぶせ山城太鼓」OBが結成

田布施町の和太鼓集団山城組「空」が7月、地元での初公演を皮切りに活動を始めた。町の小学生太鼓チーム「たぶせ山城太鼓」のOBなど15人で結成。県内外のイベントに出演し、全国での公演も目指す。メンバーたちは「パフォーマーとして常に最高の舞台を」と張り切っている。

8月、田布施町であったイベントに「空」がサプライズで出演した。空色の衣装をまとった、かつぎ太鼓で登場。「ドドン ドドン……」と力強く、リズムミカルに太鼓を打ち鳴らし、躍動感のある演奏を披露。合間にコミカルなパフォーマンスも見せ、会場を笑いで包み込んだ。

最高のパフォーマンスを

「ソーラー!!」の掛け声で気合いを入れるメンバー。前列左から3人目は「空」の中市代表、中央は「たぶせ山城太鼓」の山本会長
今後のコンサート予定：10/19(日) 周防大島町の文化会館、12/23(祝・火) 柳井市のアクティブやない

「空」が目指すのは、「最後まで目が離せない舞台」。その演出は代表の中市博之さん(55)＝田布施町＝によるもので、「一打一打を大切に、パワフルに感性を刺激し、胸の鼓動を感じさせる太鼓の音に躍動感もプラスさせたい」と熱くアピールする。

メンバーは10、20代の元氣盛り。そのパワーは太鼓の皮を突き破ってしまふほどで、「太鼓の皮を何度張り替えたか」と中市さんは笑う。

全員、中市さんが指導する「たぶせ山城太鼓」のOB。22年前、中市さんが「子どもたちに良き伝統文化を」と発足し指導を続け、これまで1000人以上の子どもたちを育ててきた。現在は小学1～6年22人が活動する。

響け！元氣と感動

「空」結成のきっかけは、後継者にと考えていた教員さんたちの「僕ら、まだ叩きたい」という一言だった。それを聞いた中市さんは「プロの和太鼓集団つくるよ」と宣言。太鼓が好きでOBを集め、昨年12月に結成。太鼓の修繕や備品製作の山中康広さん(55)、衣装製作の間鍋美智子さん(58)も加わって若いメンバーを支える。

メンバーの木村嵩さん(26)は「型にはまらないのが自分たちの太鼓。笑っても大事な演出と思って



勇壮な屋台囃子を演奏＝田布施町のイベントで8月＝

「心を表現し、自分が感動することが大事」と話す中市さんは、上手に叩くことよりも、表現力をつける練習を積む。そして「太鼓は人育て」といい、生活面も熱心に指導。団員は「何でも自分で行う」が基本。「上の子が下の子の世話をし、強い子が弱い子を守る」が規則。卒団時に「悪い道に入ったら、おれが引き戻す」と送り出し、道ごとに髪を染めたり、道を

●たぶせ山城太鼓もがんばってます● 「協力し合うのが楽しい！」



合宿の成果を発表する子どもたち＝城南公民館で8月＝

をはずしそうになる子を見守り続けている。中市さんは元小・中学校の音楽教師。鎌倉市に勤めていたが、家業を継ぐため退職し帰郷。作業服専門店を経営しながら、音楽プロデューサー、オカリナとトランペット奏者としての公演、福祉施設での音楽療法など、音楽を通して地域とかわつていく。昨年、同町観光協会の会長に就任した。9年前、心筋梗塞で倒れ、療養先で聴いた曲に励まされ生き方が変わった。音楽の持つ力をあらためて感じた中市さんは「和太鼓にも力がある」と話す。その力を「空」のメンバーや子どもたちと伝え続けていく。

山城組「空」に続けと、「たぶせ山城太鼓」の子どもたちも太鼓を楽しんでいる。